

平成 27 年 11 月に 明石保健福祉施設協会は、『介護の日』を広める目的で記念講演会を開催し、市民に対して啓発活動を開始。同時に **毎年 各加盟施設より推薦された介護に携わる職員表彰**も行なっておりました。

令和元年（2019 年）7 月 11 日 第 5 回目『介護の日』の記念式典として「ペコロスの母に会いに行く」作者 岡野 雄一氏を迎え、記念講演会と優良職員表彰を行いました。処が **全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、3 年間中止を余儀なく**されました。昨年度（令和 5 年）より、感染症も 寛解に向かいはじめた為、職員研修会と優良職員の表彰を復活させました。

今年は“介護の日” 設立 10 年を迎え、市民啓発活動として 市民向け講演会も再開しました。今回は、**西川ヘレン氏を迎え『大家族 支え愛 見守り愛 励まし愛』という演題で講演**をお願いしました。

・・・西川ヘレンさん 家族愛を語る・・・

主旨：

冒頭で母子家庭で育った 自分自身の生き立ちや ハーフを理由に 幼少期～小学生時代に虐めにあったことや、夫である西川きよし氏との出会いを語られた。その後 **結婚して実母や義理の両親との四世代同居して約 30 年に渡り、両親の介護をした経験談**を披露されました。鬱状態となった義父を、おだてて いっちょらいのおめかしをして 花見に連れて行った苦労話や、おかずの大きさに争いがあったことや、認知症を伴った些細なトラブル続きの **三人の介護の明け暮れに 悪戦苦闘された体験談をユーモアを交えて、面白くおかしく話**されました。子供達も 親の介護を見て育ち 困った時には助けてくれる。また「**毎日 仏壇へのお参り欠かさず、感謝の気持ちを伝えることや ご先祖を大切に**しなければいけない」という事も話されました。またオン年 78 歳とのことで「今後 どれほど生きられるか この先何が起こるか わからないけど **“一日一日を大切に 生きていかなければいけない”** 一生一度の人生 楽しみがいっぱいだ」と話されたのが 非常に印象的でした。



介護は 非常に尊い仕事であり、**人類唯一の文化**です。長寿社会・少子高齢化の進む 社会の中で、**高齢者が、超高齢者の介護を続けることは体力的にも不可**であり、また **エンドレスに何時までも続く介護は、精神的にも体力的にも存続が非常に難しい**ため、大きな社会問題となっております。